

こんにちは 議会です



No 26



▲1月14日、宮崎県内で一番後の出初め式で有終の美を飾る

11
月
臨
時
議
会

12
月
定
例
会

12年度決算、町のお金、どう使われたか

165億円のゆくえを審議 2 P

総括質疑

過去最高額となった、一般会計決算に質疑集中... 4 P

6人が一般質問『町政』を問う 6 P

議会傍聴者に聞く **三股西小学校6年生が議会を傍聴** 11 P

過去最高額

一般会計、100億円を越す

12月定例会は、12月6日から19日までの14日間の会期で開かれました。
 一般会計の決算をはじめとする8会計の決算や補正予算など、20議案が提案され、常任委員会で審査した後、すべての議案を可決しました。

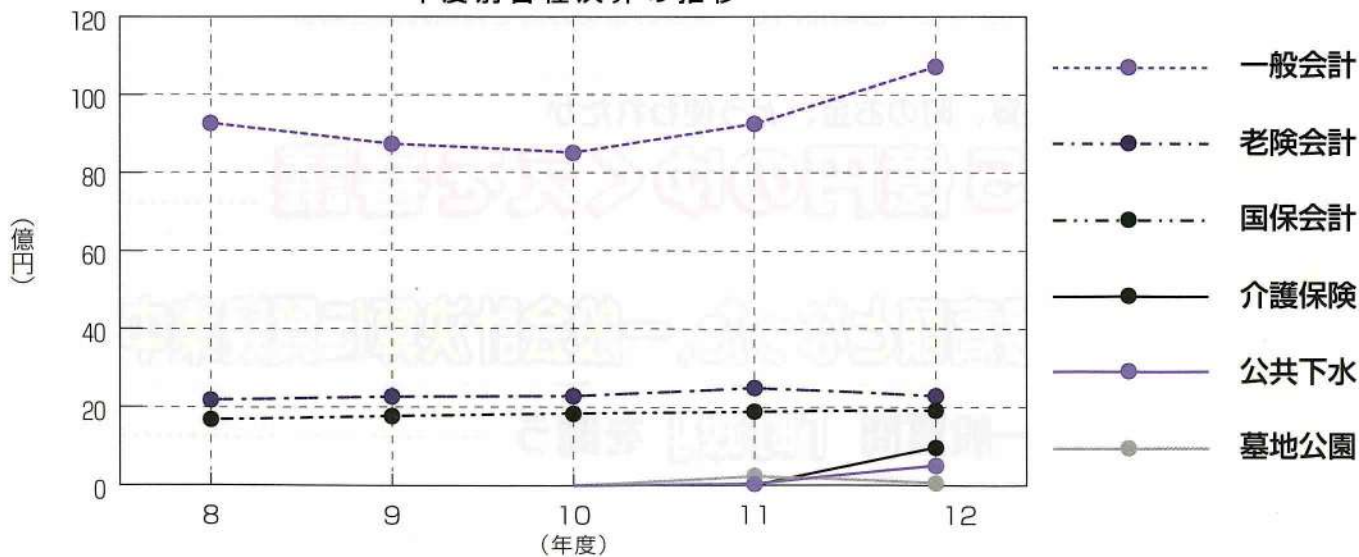
今議会には、108万円、歳出が105億1810万円であり、主な投資的事業は、総合文化施設の建設、三股中学校プールの改修、第2地区交流プラザの建設などでした。

財源などの詳細は表1のとおりです。

その他の特別会計決算の概要は次のとおりです。

は、歳入が172億円、歳出が165億円と、11年度の決算額を大幅に上回る額になりました。	▼国民健康保険事業会計	歳入	22億8910万円
一般会計の決算は、歳入が107億2	歳出	19億1666万円	
	▼老人保健事業会計	歳入	22億8954万円
	歳出	3億7244万円	
	▼宮村南部地区農業集落排水事業会計	歳入	2億1411万円
	歳出	2億1399万円	
	▼介護保険事業会計	歳入	10億3756万円
	歳出	9億6667万円	
	▼公共下水道	歳入	7089万円
	歳出	7089万円	
	▼墓地公園	歳入	0万円
	歳出	0万円	

年度別各種決算の推移



町のお金・どう使わ

165億円の

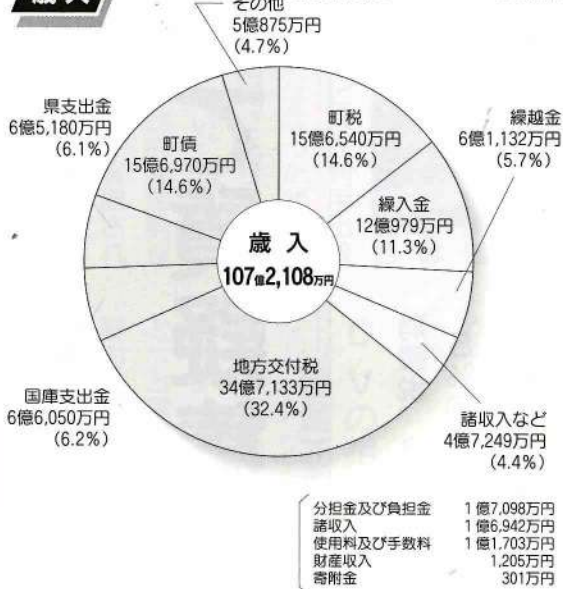
12年度 決算

表1

一般会計決算

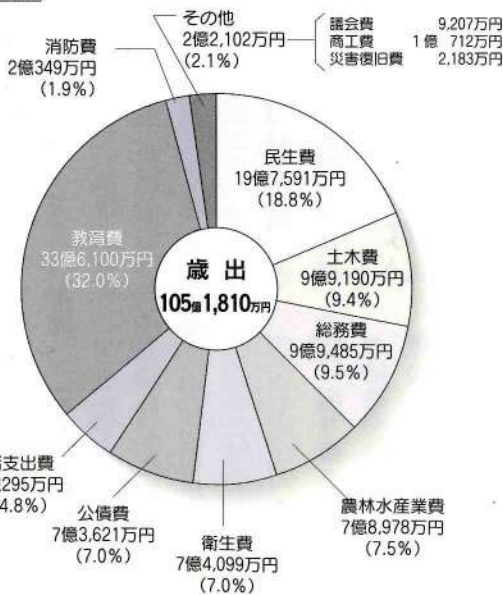
地方消費税交付金	1億8,656万円
地方譲与税	1億5,603万円
自動車取得税交付金	5,732万円
利子割交付金	5,317万円
交通安全特別対策交付金	316万円
地方特例交付金	5,251万円

歳入



▲12年度の目玉事業となった文化会館

歳出



▼墓地公園事業会計
歳入 6528万円
歳出 6444万円
差引 84万円

▼公共下水道事業会計
歳入 5億751万円
歳出 5億750万円
差引 1万円

このほかに、条例の一部を改正する議案が2件と、一般会計をはじめとする補正予算案が7件、損害賠償の決定及び和解が1件提案されました。主な内容は、次のとおりです。

▼三股町長の資産等の公開を、株数及び額面の総額まで公開するところを、株数の公開に改正しました。

▼文化会館の器具の使用と使用料に、16ミリ映写機と大型プロジェクターを追加しました。

▼一般会計の補正予算は、補正額4億2145万円、総額82億9410万円としました。

歳入の主なものは、繰越金と町債(町の借金)で、歳出の主なものは、多世代交流センター建設事業費の追加補正と基金の積み立てなどです。

一般会計の決算に 対して質疑集中



▲熱心に審議する議会の様子

今定例会に提案された議案に対して、総括質疑をしたところ、過去最高額となった一般会計の決算に対して、質疑が集中しました。
また、武道館の駐車場用地購入などについて、多くの質疑やするどい指摘がありました。

消費税、3%と

5%の影響の差は？

問 平成12年度一般会計決算歳入歳出の消費税が5%と3%の場合それぞれいくらになるか。

答 3%の影響額は、1億3944万4千円で、5%の影響額は、2億2798万1千円であり、その差は、8853万7千円である。

3%の時の消費税は、歳入に対して、340万5千円であり、歳出に対しては、1億4284万9千円であった。

5%の時の消費税は、歳入に対して、556万6千円で、歳出に対して2億3354万7千円である。

官々接待は、

行われていない

問 各課ごとの食糧費の決算額、11年度比の増減額と、そのうち官々接待費を接待先別に金額と目的を示せ。

答 平成12年度の食糧費の決算額は、全体で18の課で執行され675万4674円となった、対前年度で98万9429円の減となり、率で12・8%の減である。

官々接待は、平成7年の8月に、自治事務次官の通知に、「食糧費については簡素更正を旨とした行政運営の確保、適正な予算執行をせよ」とある。本町としても、これらを踏まえ、適正な予算執

行に取り組んでいる。その結果、接待による食糧費はなくなった。

過疎化地域定住促進奨励事業は、長田・梶山小校区のみで行う

問 過疎化地域定住促進奨励事業の11年度と12年度の実績を述べよ。

また、この指定区域に、梶山・長田小校区への転入だけが該当するのだが、指定区域内の住民が分家する場合や、町営住宅の入居者が、指定区域内に家を新築あるいは購入して居住する場合、また宮村小校区への転入の場合に対する適用の拡大はどうなっているか。

■11月臨時議会

BSE対策として 畜産農家に緊急支援

昨年の11月5日に臨時議会を開き、BSEに対する緊急支援策のための予算の補正をしました。

BSEいわゆる牛海綿状脳症が発生し、牛肉の消費低迷により、枝肉価格、子牛価格が急激に低下しました。それにより、畜産農家に多大な影響を与えています。

本町の基幹産業である畜産の経営安定化を図るため、支援特別対策を実施します。

まず、歳入は、平成12年度収支で見込まれる繰越し金の中から増額補正をし、歳出の農林水産業費は、畜産農家の経営支援対策事業として、牛海綿状脳症支援特別対策事業補助金993万円、牛肉、牛乳の安全性と消費拡大対策事業として215万円を追加補正しました。



答 11年度は、26人、232万円、12年度は、31人、551万円となっております。比較すると5人増、319万円の増額となっております。

この奨励金の目的は、「過疎地域の住民の増加と安定化を図り、快適で豊かな地域づくりを行う」となっている。

また、過疎地域とはどういうものかというところ、「小学校の複式学級が見込まれる地域とする」と要綱にある。そのため、現在の指定区域で住民の増加につながるものに対してのみ認めている。

資格証明証は 交付していない

問 13年9月末の滞納世帯数はどうなっているか。

答 9月末の滞納世帯数は、督促件数で686世帯である。

問 12年度決算時と13年9月末での期限付き保険証及び資格証明証の発行状況はどうなっているか。

答 資格証明証は、本町では現在交付していない。期限付き保険証の交付状況は、12年度決算で、216件、9月末現在で、315件となっている。

町税が大幅減、原因は、 都市計画税の廃止

問 町税の15億6540万円は、前年度と比較すると8767万円の減となっている。これは、都市計画税の廃止によるものだと思うが、このうち都市計画税による減額分はいくらか。

答 前年度と比較して減となった町税のうち、都市計画税の分が、7696万円である。

問 特別土地保有税の収入未済額の件数は、いくらか。

答 現年度が、1件、過年度が、2件である。

安全性を考え 武道館の 駐車場用地を購入

問 武道館の駐車場用地



▲三股町武道館

購入に際しての坪当たりの単価と建物の撤去費用を教えてください。また、購入を決定した経緯と価格を決定するまでの経緯

を聞きたい。

答 坪単価は10万3千円となり、建物の撤去費用は、売主の負担となる。売主より申し出があり、調整会議等で話し合った結果、駐車場用地として購入すると決定した。

単価については、周辺の土地の取引状況に基づいて、内部会議を開き決定した。

問 別の場所の検討はしなかったのか。

答 安全面から考えて、出入り口の確保が、大切であるということから、この土地の購入に決定した。

12月議会の一般質問は12月18日に行われ、6人の議員が質問しました。内容を要約してお知らせします。



▲連日、大勢の入館者がある町立図書館



議員 茂 場 的

町長

文化会館を十分生かすには

文化・芸術と親しむ機会を提供する

問 文化ホールの申込状況と申込者数を示せ。

生涯学習課長 14年3月までのホール申込件数は66件、内訳は・町及び行政機関の件数22件・一般の件数41件・自主事業3件である。ホールの稼働率(55%)、11月は8割の稼働率で、観客数は7,000人であった。

職員体制は整っているか

問 関係職員体制はどのようなになっているか。

生涯学習課長 文化会館の職員は、係長1人、庶務1人の2人・その他予約業務の委託職員1人、常駐技術者1人、計4人

である。

問 文化会館と図書館の建設は、町民の永年の念願であり、スタート出来たことは、喜ばしいことである。

しかし、公共施設は、完成したから終わったというものではない、その目的に向けて充実した運営がなされるための基盤整備が最も必要だと思うが、

町長 会館には、円滑かつ合理的な運営を図るために「運営委員会」を設置している。

これからは、文化協会や地域の演奏家、演劇家などへの貸館事業とともに自主文化事業の充実が必要で、住民に広く、文

化と芸術に親しむ機会を提供したい。

図書館の

利用状況は

問 図書館の会員登録数を示せ。

生涯学習課長 4,159人で、新規登録者は、1,501人、1ヶ月で前年度の65%が登録している状況である。

問 入館者数と前館との比較を示せ。

生涯学習課長 入館者数は、12月2日現在、1ヶ月で19,710人(1日平均794人)貸出し冊数、19,899冊、1ヶ月間で約20,000人来館(10倍

／前年比)。貸出し数(4倍強／前年比)。

問 執務内容と職員体制を示せ。

教育長 職員4人、委託職員4人体制。毎週月曜日が休みで土日とローテーションで1日休みの勤務計画を策定していたが、今後の推移を見守り、勤務体制を再検討したい。

問 移動図書館の計画は。

町長 ネットワーク作りとサービス等、検討すべき点が多い、また、職員体制ともからみ14年度は、検討期間と位置付け、早期に実施できるように前向きに取組みたいと考えている。

決算の認定を9月定例会に提出できないか

町長 9月に提出できるように努力する



▲監査のようす

永山龍郎議員



問 本町も一般会計の電算化をはじめ、すべての事務の合理化、効率化も進み、県内町村のほとんどが九月定例会で一般会計の決算認定を提出している。本町も九月議会に提出し期間の短縮はできると思うが。

町長 各町村が決算認定は九月議会に提案する傾向にある。決算認定は九月議会が望ましいと考えている。出納閉鎖後七月上旬までに決算を調製して提出できるように要請したいと思っている。

現在の職員体制で大丈夫か

問 議会事務局の職員が監査事務補助職員を兼務しており監査委員事務執行規定の第一条の事務の効率的な執行が確保できるのか。

町長 現在の監査態勢ではたして、できるかどうか問題になってくると思う。今後態勢の充実を検討したい。

問 町長より七月はじめに送付された場合、監査委員の審査が九月議会に意見書を付して提出できるのか代表監査委員に伺う。

代表監査委員 議員のご指摘のとおり、県下の30ヶ町村が九月定例会で決算の認定を受けている。監査委員でも協議して、九月議会提出を想定して監査日程を組んでみると七月始めに決算書を受理して、証憑書類、帳簿、関係書類などを審査して、審査結果をまとめ意見書をつけて印刷を行い、町長に意見書の送達を勘案してみると、そうゆとりはないが、今後町長と協議して対処したい。

文化会館に 住民が作った芸術作品は展示できないのか

町長 今後、検討したい



原田重治議員



▲すばらしい作品が、ところ狭しと並べられた文化祭

問 文化会館の使用基準について問いたい。町民の希望の会館が完成し、この会場を使った発表会を楽しみにしていた人達の中に、利用が認められなかったとの不満の声がある。芸術については、文化協会主催、あるいは、生涯学習教室の発表会が

行われたが、芸術部門については、展示会場として使用させてもらえなかったとの声がある。展示品によっては、その会場や作品周囲の飾り付けが、作品の引立役として大切である。これ迄は、体育館が会場であったので、作品のよさが発揮出来なかったが、今年から、長年望んでいた会場に飾られると喜んでいたが、その望みがかなえられなかったとの不満の声がある。三股町にも芸術品としてすばらしい作品を生み出す人がいる。三股町の文化の発信地として活用出来るようにし町民からの不平不満が出ないように検討してもらいたい。

町長 文化祭の芸術品展示については、展示に必要な部品が揃っていない事と、全作品を展示出来ない事、文化協会と協議も行って決定したが次回は、充分検討したい。

問 次に、文化会館を利用して行う表彰式は、表彰者を第一に考えた式の構成にして頂きたい。表彰者にとっては晴れの舞台を客席に背を向けて紹介されてもあまり嬉しくはないのではないかと思う。その人にとって忘れることのない式典にして頂きたい。表彰者と舞台の大きさ等問題はあるのかと思うが、表彰式が、メインであれば解決出来るものと思う。

町長 社会福祉協議会から午前中に終らせてもらいたいとの申入れがあり、会場の移動等に時間が掛かることと舞台上へ全員に上がってもらうには、舞台が狭いとこの事から客席で紹介となった。よい知恵があったら、協力を願いたい。又よい方法を検討したい。



▲訪問看護ステーション



池田克子議員

24時間態勢で巡回訪問看護はできないか

町長 民間事業者の動向をみたい

問 介護保険制度開始から二年経過した。的確に住民のニーズを把握し、施策化する必要があるのではないか。介護保険事業に係る在宅と施設の利用状況について問う。

町長 在宅が前年度より10・2%増、施設が5・3%増、利用者の割合は在宅73%、施設27%である。

問 居宅サービス対象者推計をみても在宅介護は年々増加している。総合的なサービスが利用出来るようにはなったが、一部の時間帯であり、まだ充分ではない。先進的な他町では、24時間態勢巡回訪問看護が実施されている。当町も早急な検

討をすべきではないか。

町長 24時間態勢については今後も重要になってくる。民間事業者の動向をみながら充分検討する。

問 “24時間在宅ケア”を町づくりの一事業として発展させた先進地に職員を派遣出来ないか。

町長 “百聞は一見にしかず”で現地をみる事は大事である。非常に重要な事なので充分検討したい。

D・Vの相談窓口を 設置できないか

問 これまで「夫婦げんか」や「家庭内のもめごと」と見過ごされてきた暴力は、平成13年10月13日「D・V防止法」が制

定され、暴力を許さない社会の第一歩が示された。

もし、被害にあった場合には(1)配偶者暴力相談支援センター(2)警察(3)地方裁判所への相談窓口があるが、自治体にも防止や保護の責務がある。D・Vの特設相談窓口を作れないか。

町長 近い将来には必要となってくるが、現在は既存の行政相談窓口で対応する。

問 地域で信頼され相談件数も多い民生委員、各種団体幹部の方へも指導研修の場を設定しては。

総務課長 まず職員を研修させたい。その後各幹部の方々と研修の場を設ける。

問 D・V防止の啓発を強力に推進すべきではないか。

町長 D・Vを防止する社会の認識が大事である。パンフレットを作成して強力に啓発する。

問 家庭でのD・Vは子供にも影響がある。学校教育での取組は。

教育長 人権尊重の教育について各分野の中で、最低5時間以上学習することを義務づけている。

問 D・Vを受けた被害者の子供の入学・転校等の学校の配慮は。

教育長 関係機関と連携をとりながら対応する。

介護保険料の減免は重要では

町長 今のところ
減免する考えはない



中村力雄議員

◀たくさんの介護保険のパンフレット



問 介護保険の矛盾の焦点は、真に介護を必要とする高齢者が負担の重さから十分なサービスを受けられないところにある。

本町の高齢化率は18.4%と全国平均より高く、また第一号被保険者の年金受給額は5万円以下が25%を占めている。こうした中で10月から65歳以上の保険料全額徴収が行われ、町民の負担は耐えがたいものになっている。このままでは介護保険の利用低下は明白であり、その意味からも保険料の減免措置は重要である。

町長 平成12年に策定された現在の介護保険制度は、国の「円滑導入基金繰入金」により保険料の低減が図られ、現在まで全くトラブルは起こっていない。保険料に対する理解が町民に十分浸透した結果と言える。

平成12年にスタートした介護保険制度は策定通り健全な財政計画を確立

し、順調に進められている。

問 温泉建設は広い意味で福祉の立場からも良いことだが、今の町民の生活実態を考えると、税金の使い道として、介護保険の減免など、直接町民の福祉を優先させるものにすべきであり、今時温泉建設に10億円も注ぎ込むのは町民感情に沿わないのではないかと。温泉建設については今一度町民アンケートを実施して規模などを再検討すべきではないか。

町長 平成7年から進めているプロジェクトであり町民の期待も大きい。他町では温泉をつくったために医療費も好転していると聞いている。基本的な計画変更は行わない。

問 先の議会で介護保険の減免措置について質問した折、町長から「他の市町村より先走って実施するわけにはいかない」

との答弁があった。保険料減免措置を決めた市町村が半年前に139あったが、10月1日現在では310市町村になっている。本県でも小林市、野尻町が低所得者等を対象に介護保険料の減免を決めている。全国でも既に1割の市町村が実施を決めている今、本町でも、せめて低所得者に対する減免措置の実施を強く要求する。

町長 介護保険は発足後日が浅く、問題点もあるだろうが、去る11月28日、全国町村長大会があり、その中で介護保険制度の円滑な実施のため、低所得者に対する保険料・利用料の減免措置を講ずること及び措置にかかわる財政補填制度を創設することを国、政府に要望書を提出し、その実現を望んでいるが、町として今のところ平成15年の見直し策定まで現行制度を変更する考えはない。

議会を傍聴

しました



社会科の学習で、議会を見学させていただきました。子どもたちも興味深く学ぶことができました。快く承諾して頂き、議会担当の方々にお礼を申し上げます。



担任の浅井先生

三股西小
6年生

12月10日、三股西小学校の6年生37人が、社会科学習の一つとして、総括質疑を傍聴しました。その中から8人の子供たちに感想を書いてもらいました。

いろいろな考えがあったと思った



平原佳奈さん

私が三股町の議会を初めて見学したことは税金の事や、一世帯あたりの収入額の事や、町の予算の事などの内容でした。次に、大変だろうなあと考えた事は、議員さん一人一人が意見を活発に述べられ、いろいろな考え方があると感じました。いろいろな意見が分かれていたので決めるのにケンカになるんじゃないかと思いました。

大変だなあとと思った



松田里紗さん

議会を見学して、思った事は、一つの疑問に対して必ず答えていました。それに一人の人が意見をいったら、それに負けないように意見を言い返していました。だから、最後の一つの意見に決める時、大変だなあと思いました。たくさん勉強になりました。

少し難しかった



黒木彩花さん

私は初めて議会に参加することができました。役場までみんなで歩いて行ってぼう聴席で議会の様子を見ることができました。話の内容は少し難しかったけど議員の方々は活発に意見を発表していました。一所けん命発表しすぎておもしろい人もいました。

偉い人たちだと思った



山角師之くん

12月10日、三股町議会を見学しに行きました。議会には、いろんな人たちがいました。意見を述べる人、聞く人。この人達は、三股町がより良い町になるよう話し合っていました。だから、ここにいてる人達は、とてもえらい人達なんだなあと思いました。

議会は大切だと思った



上原 毅くん

僕は、議会を見てそして感じたことは、僕たちの討論会とは違って、誰かが答えるとすぐに反対側の人が手を上げてのくり返しでした。中には、すぐく答える人もいました。議会は大切なものなんだなと感じました。また機会があったら見学に行きたいと思います。

感動しました



勢井沙哉佳さん

私は議会を見学して、こんな感じだと思います。思ってもいませんでした。一人一人の意見がちがいが、言い争っている議員の方々を見て私は、感動しました。議員の方々を見て学校でも積極的な自分でありたいなあと強く感じました。

すごい迫力でした



森山みなみさん

私は、初めて議会見学に行きました。初めのうちは、緊張していたけど、中に入ると、とても暖かくてみんな笑顔で待っていて下さいました。議会が始まって、まずしゃべりだしたのは、一人の議員さんでした。すごい迫力で少しこわかったです。でも議会ではどんなことをしているのかなどが分かり、よかったです。

私もそんなふうになりたい



吉行絵里香さん

私達は、二学期に役場へ議会を見学に行きました。一人の議員さんは、一人で一所けん命意見を言っていて、なんかけんかみたいだったけど意見を、どんどんじゃんじゃん言っていたのですごいなあと思いました。私もそんなふうになりたいなあと思いました。

議会を傍聴してみませんか

次の本会議は、3月上旬の予定です。くわしくは、議会事務局まで

52

三股郷土史研究会

ふるさとの歴史を調べ

語り継ぐ

会長 茨木 次夫さん



この会の発足は

三股の過去を知り、現状をみて、今後の三股は如何にあるべきかをさぐるために、同志相集い研究していくことを願って、発足は昭和五十七年七月で、十四年度は、発足以来二十年を迎えます。

主な活動の内容は

- 一、機関誌「ふるさとみまた」を毎年発行しています。十三年間発行で十九号となりました。
- 二、十周年記念に「みまたの石造文化」を発行しました。
- 三、講師を招いての講演会と、会員による研究発表会の開催。
- 四、史跡巡検（牛の峠、板谷越、梶山・勝岡城跡）等。
- 五、今年二十周年記念事業として、石碑を中心に「みまたの石造文化（二号）」を発行するため、現在編集集中です。

機関誌の問い合わせ先

毎年十一月に「ふるさとみまた」を発行しています。
文化関係発表会が開催される時、会場等で販売しています。
問い合わせ先は



- 一、三股町大字榊山四六二六一
電話番号、五二一〇二〇七
会長 茨木次夫宅
- 二、三股町教育委員会
電話番号、五一―三四六二
文化会館内（生涯学習課）

皆さんにお願いしたい事

- (一)、三股町内には、文化と歴史をしのぶことのできる貴重な史跡が数多く残されています。歴史文化遺産を大切にしましょう。
- (二)、郷土史研究会への入会を歓迎いたします。
- 三股郷土史研究会で発行した、機関誌「ふるさとみまた」の各号と、十周年記念事業で発行した「みまたの石造文化」は町立図書館にあります。ぜひ読んでふるさと三股を見直して下さい。

(取材・黒木孝光)

編集後記

新春のお喜びを心から申し上げます。

昨年はわが国経済は更なる不況の波にさらされ、県内ではシーガイアの再建問題。そして米国の同時多発テロ事件と大変な一年でした。

今年は何年であってほしいと願うのですが、経済不況の中、アメリカスタンダードが幅をきかせ日本人の心まで失っている時代です。情報は溢れ、その中で自分で考えることを止めて、マスコミが一方的に流す情報を自分の意見としているように、情報化社会が逆に日本人を悪い方向に導いているようで、日本の将来に不安を感じます。

さて、地方自治体においては地方分権の推進・国の政策による合併問題・地方交付税の引き下げと、厳しい時代に入っており、ますます議会の役割が重要になってます。

本年も読んでいただく「議会だより」をめざしていますので、皆様のご意見やご要望を気軽に御寄せください。

(編集委員・山中則夫)